

2018年9月12日
新宿駅周辺防災対策協議会

平成30年度 東西地域合同地震防災訓練 多数傷病者対応訓練 実施概要

1. 訓練概要

本訓練の目的は、大規模地震災害により駅周辺で多数の傷病者が発生したときに、地域で連携した対応ができるようにするための共助による傷病者対応と情報伝達の試行と検証である。訓練は、新宿駅周辺防災対策協議会に所属する地域事業者および新宿区医師会に所属する医療従事者が参加する実動訓練とし、発災から一定時間が経過した発災現場付近における多数の傷病者に対する救護活動を想定して実施する。具体的には、首都直下地震の発生から数時間が経過した不特定の救護活動場所における場面を設定し、各事業所で自助対応を済ませた地域事業者（非医療従事者）が主体となり、救護活動場所の設置、傷病者の受け入れ、応急救護および情報管理を行い、そこへ要請を受けて駆け付けた医療従事者による救護活動支援が加わり、地域事業者と連携して傷病者対応を行う内容とする。

2. 訓練目標

(1) 地域事業者（非医療従事者）

- ① 救護資機材の展開、チームビルディングができる
- ② 傷病者の症状に応じた応急手当、観察記録、搬送ができる
- ③ 情報ツールを使用し傷病者の入退出情報、観察記録等の情報管理ができる
- ④ 医療従事者に傷病者情報の引き継ぎができる

(2) 医療従事者

- ① 救護活動場所の状況を把握し、メディカルマネジメントができる
- ② 1次トリアージを行い、症状に応じた医学的アドバイスができる

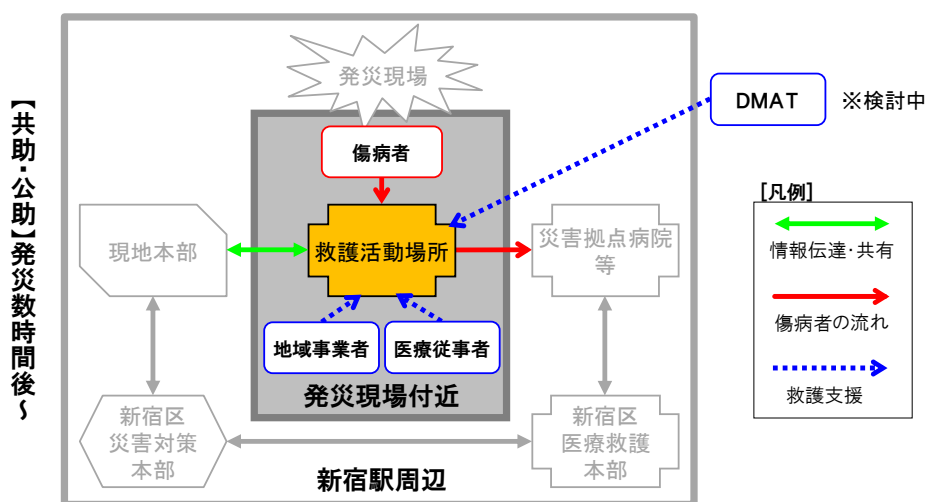


図1 地震災害時における傷病者対応の地域連携コンセプトと訓練の位置づけ

3. 実施日時・訓練会場

日時：2018年10月3日（水）13:00～17:00

※午前中（11:00～12:00）に希望者を対象とする応急救護事前練習を実施

会場：工学院大学新宿キャンパス 1階アトリウム

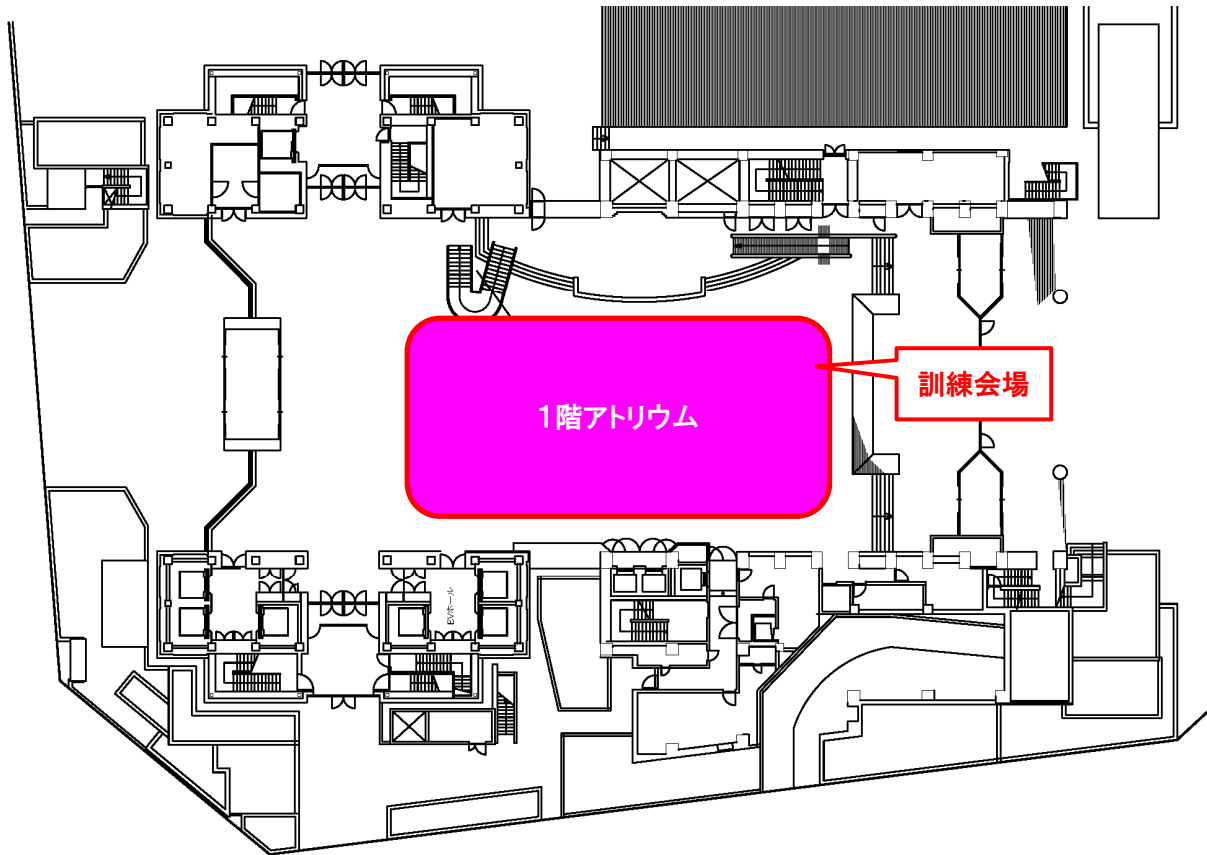


図2 多数傷病者対応訓練会場

4. 訓練実施項目

(1) 地域事業者（非医療従事者）

- ・救護活動場所の設置…救護資機材展開、チームビルディング
- ・応急救護…応急手当、観察記録、搬送
- ・情報収集伝達…傷病者の入退出情報、観察記録等の情報管理
- ・医療従事者との連携…コミュニケーション、傷病者情報の引き継ぎ

(2) 医療従事者

- ・救護活動場所の状況把握、メディカルマネジメント…CSCA
- ・救護活動の支援…1次トリアージ、医学的アドバイス
- ・非医療従事者との連携…コミュニケーション、傷病者情報の引き継ぎ
- ・DMATとの連携 ※検討中

5. 参加者の役割・組織編成

表 1 参加者の役割と主な活動内容

	役割	主な活動内容	備考
地域事業者	統括リーダー 情報連絡班リーダー 情報連絡班 応急救護班リーダー 応急救護班	救護活動全体の指揮・調整、状況把握 情報連絡班の指揮・調整、状況把握 救護活動場所の情報管理 応急救護班の指揮・調整、状況把握 傷病者の応急救護	
医療従事者	医師・コメディカル DMAT ※検討中	診療要請を受けて参集、救護活動支援	1回目と2回目で交代参加 又は状況観察
傷病者		演技、救護体験	1回目と2回目で応急救護班等と交代

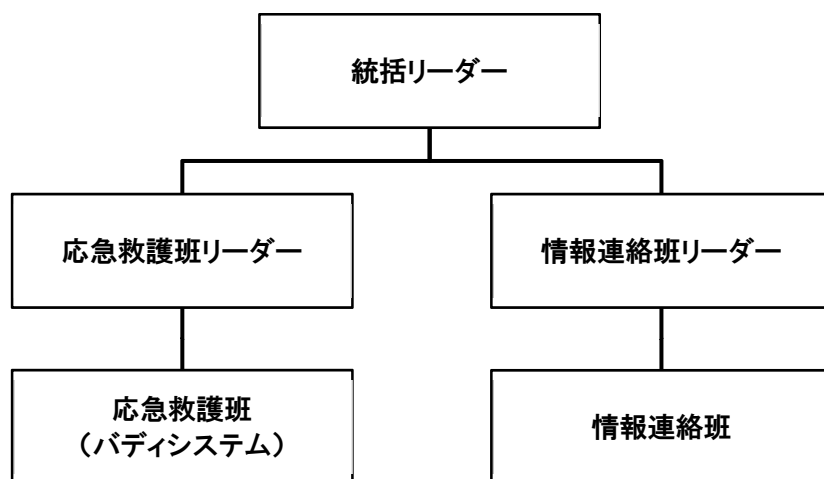


図 3 地域事業者による救護活動場所の組織編成

6. 訓練の流れ

表 2 多数傷病者対応訓練の流れ

時間	内容
13:00	参加者集合
13:00～13:30	オリエンテーション
13:30～14:00	役割ごとに準備
14:00～14:40 (訓練 1 回目)	<ul style="list-style-type: none">・ 参集（非医療従事者）・ 安全確認・ 組織編成・ 装備、資機材確認・展開・ 傷病者受入れ・ 応急手当・ 観察記録・ 情報管理・ 救護活動支援（医療従事者）・ 引き継ぎ・ 搬送
14:40～15:00	ふりかえり
15:00～15:30	役割を交代し準備
15:30～16:10 (訓練 2 回目)	※訓練 1 回目と同じ
16:10～16:45	ふりかえり、アンケート
16:45～17:00	講評
17:00	参加者解散

7. 訓練説明会日程

日時：2018年9月27日（木）15:00～17:00

場所：工学院大学新宿キャンパス 28階第4会議室

内容：訓練における役割と実施内容の確認

8. 訓練検証会日程

日時：2018年12月14日（金）午後 ※詳細時間未定

場所：未定

内容：訓練実施報告、ふりかえり（ワークショップ）

以上